

CIR レポート令和7年2月号

泰山皮影戲について

国際交流員 はんれいれい 樊麗麗（中国）

皆さん、こんにちは！中国国際交流員の樊麗麗です。今回は中国の山東省泰安市にある観光スポットの岱廟について紹介しました。今回は山東省の泰山皮影戲について紹介したいと思います。

「皮影戲」は別名「影子戲」または「燈影劇」とも呼ばれ、中国民間の古い伝統芸能です。獣の皮や段ボールで作られた人物のシルエット（影絵）に光を当てて民話の物語を表現する演劇です。演者は白い幕の後ろで影人（皮影戲の人物、道具など）を操作しながら歌い、音楽を伴奏します。劇の内容には濃密な郷土色があり、節回しは、その土地の流行の曲調を帯びています。多くの影人がロバの皮で作られていることから、通称「驢皮影」とも呼ばれています。皮影戲は前漢に始まり、唐代に流行し、清代に隆盛し、元の時代に西アジアとヨーロッパに伝わりました。その中で「泰山皮影戲」は、別名「人子戲」「挑影子」とも呼ばれます。明代の古書の中に泰山皮影戲の関連の記録



があるので、現代まで既に600年の歴史があることがわかります。2007年に最初の国家無形文化遺産リストに登録され、2011年に世界無形文化遺産「中国の皮影」のリストに登録されました。

泰山皮影戲は民間芸術家の長い芸術実践を経て完成されたもので、その芸術創作と演技スタイルはすべて非常に独特で、地域の特徴を強烈に示しています。歌唱は山東の大鼓を中心にし、劇の内容の多くは泰山に関する伝説を題材にしたもので、その代表作『泰山石敢当』は泰山文化の特徴に富み、筋書きは山東人の豪快な気質に満ちています。また、泰山皮影戲は演者が少な

いことで有名です。中国皮影戲の上演方式は種々様々で、一般的には数人の共演が必要ですが、泰山皮影戲の方式は独特で、ワンシーンは二人で行い、一人が伴奏、もう一人が影人を操作します。ある時には一人だけで公演することもあります。この上演方式は皮影界の特技として「十不閑」^(注1)と呼ばれます。

「十不閑」には演者の相当な演技力が必要で、現在、この妙技は中国では泰山皮影戲の6代目伝承者である範正安だけが完全に継承し、保持しています。泰山皮影戲は2007年に北京で開催された全国無形文化遺産展で最高賞の

「中国文化部文化遺産日賞」を受賞しました。また、泰山皮影の制作のナイフの技術は洗練され明快で、彩色のコントラストが強く、皮影工芸製品の『泰山石敢当』は、ロバの皮を使い純粹な手作業で彫刻され、観賞品また鎮宅靈符にもなり、泰山の特色工芸品の代表になっています。



泰山皮影戲は泰山に深く根を下ろし、国内外の観客に愛されています。「泰山に登って泰山皮影戲を見ないと泰山に旅行していないのと同じである」という言葉があります。泰山の皮影戲と泰山とは不可分であり、泰山文化の構成要素となり、泰山文化の「生きた化石」と呼ばれています。

「注釈」

1、十不閑：人の五感と四肢を併用してどこも休むところがない、ということである。つまり、皮影戲の上演中は同じ時間内に足で伴奏し、手で操作し、口で歌い、全身をすべて働かせて、一人の人がいくつかの役割を兼ねて、一人で上演をやり遂げるのである。

泰山皮影戏

皮影戏，又称“影子戏”或“灯影戏”，是中国民间古老的传统艺术。是一种用灯光照射兽皮或纸板做成的人物剪影来表演故事的民间戏剧。表演者在白色幕布后面一边操纵影人，一边演唱，并配以音乐，剧目具有浓厚的乡土气息，唱腔为当地流行的曲调。又因为影人多是驴皮制成，所以又通称“驴皮影”。皮影戏始于西汉，兴于唐朝，盛于清代，元代时期传至西亚和欧洲。其中，泰山皮影戏又称“人子戏”“挑影子”。早在明代古籍中就有泰山皮影戏的相关记载，距今已有 600 年历史。2007 年被列入第一批国家非物质文化遗产名录，2011 年被列入世界级非物质文化遗产“中国皮影”名录。

泰山皮影戏是民间艺术家经过长时间的艺术实践而形成的，其艺术创作和表演风格都十分独特，呈现出强烈的地域特色。在唱腔上以山东大鼓为主，剧目内容多取材于有关泰山的传说，其代表作《泰山石敢当》极富泰山文化特色，戏中充满了山东人的豪爽气质。同时，泰山皮影戏在表演上以人少而著称，中国皮影的表演方式繁多，但一般都需要多人进行合作演出。泰山皮影的表演方式较为独特，一台戏需要两个人，一人伴奏、一人操纵影人。有时一人演出一台戏，此表演方式被称为是皮影界绝活“十不闲”。

“十不闲”需要表演者有相当厚的表演功底。目前，此绝技在中国只有泰山皮影第六代传承人范正安一人将其完整地继承和保留下来。在 2007 年北京举办的全国非物质文化遗产展上，泰山皮影获得了最高奖“中国文化部文化遗产日奖”。此外，在皮影制作上，刀法简练明快，着色对比强烈，皮影工艺制品《泰山石敢当》采用驴皮纯手工雕刻而成既可观赏、又可镇宅辟邪，成为具有泰山特色工艺品的代表。

泰山皮影戏深深扎根于泰山脚下，深受国内外观众的喜爱，因此有“登泰山不看泰山皮影戏不成游也”之说。泰山皮影戏与泰山不可分割，成为泰山文化的组成部分，被誉为泰山文化的“活化石”。

「写真出典」

泰山皮影戲『泰山石敢当』：<https://image.so.com/i>

十不閑：<https://image.so.com/i>